

春風駘蕩



市川中HP

陵風祭 MAGIC

▼本番を翌日に控えた10日(土)、「がんばろう集会」が開催されました。生徒会本部が趣向を凝らして制作したオープニングムービーが

流され「努力・達成感・絆をキーワードに陵風祭を成功させよう」というメッセージを送った後、各部門長からの決意表明、ステージバック・学級旗・横断幕の披露と吹奏楽部の発表がありました。▼ここでの盛り上がりそのままに、11日(日)の、開祭式では、「MAGIC～僕らのStoryのもとに、みんなの思いを一つにして、最高の魔法を完成させよう」と声高らかに開会宣言が行われました。▼続いて文化の部が行われました。1学年演劇は「カラフル」。コミカルでかわいらしさの中にも、「仲間との関わり方」について劇を通して考え、学年スローガン「日進月歩」に迫ろうとする意気込みが感じられた発表でした。▼2年生の演劇は「世界で一番の贈り物」。広く世界に目を向け、戦争の悲しさや平和の大切さについて問い直す作品で、この一年間の大いなる成長ぶりをうかがわせる発表でした。



▼3年生の演劇は「逃亡者～夢を追いかけて～」。どんな状況にあっても、日々ベストを尽くし、後悔のない人生を送ることが何よりも大切である」というメッセージが込められた3年間の集大成にふさわしい内容と表現力に圧倒されました。



▼午後は体育の部で始まりました。コロナ対策として非接触、ソーシャルディスタンスの確保など様々な制約がある中で、体育部門では、競技種目を考えてくれました。「全員リレー」などの学年別対抗競技の他に、全校が3つの系列に分かれて競い合う「宅急便リレー」や「竹棒リレー」が行われました。▼十分な取組時間が確保できない中で、本番でしたが、全力で必死に取り組む姿と、和気あいあいと競技を楽しむ姿の両面が見られた楽しいひとときでした。▼その後、この2年間実施できなかった「全校合唱」を校庭で行いました。今回「宿命」と「大地讃頌」の2曲に取り組んできましたが、全校生徒の思いが一つになった心地よい反響音が校庭を包み込みました。そして、最後は、全校生徒が一つの輪を作り「フォークダンス」を楽しみました。▼閉祭式では、これまでを振り返ってのエンディングムービーを見た後、本日のキーワードであった「達成感・絆」を意識し、全員で創り上げたすばらしい陵風祭であったことを確認し合いました。また、生徒からは、陵風祭が開催できたことや仲間と楽しいひと時を過ごせたことへの感謝の言葉が相次ぎました。その後、再び校庭に集まり、火文字と花火が打ち上げられ、感動的なフィナーレを迎えました。▼今回はコロナ禍での3度目の陵風祭となりましたが、生徒たちは、約2週間の特別日課を、午前中はしっかりとした態度で授業に臨み、午後は部門や学年の取組に、全力で取り組んでくれました。体力的にはきつかったと思いますが、楽しそうに取り組んでいたのが何よりもうれしかったです。そのため、学校全体に「活気」があり、生徒一人一人に「たくましさ」が感じられました。まさに「陵風祭MAGIC」だと思います。▼保護者の皆様には、参観における人数制限等にご協力いただきありがとうございました。

